

生成AIを活用した生産性向上の取組みについて

株式会社七十七銀行（頭取 小林英文）は、「Vision 2030」のキーファクターであるDX推進の一環として、生成AIの活用による銀行業務の抜本的な生産性向上に向けた取組みを2025年3月より開始しますので、お知らせします。

当行は、今後もデジタルテクノロジーを活用した銀行業務の効率化・高度化に積極的に取り組むことで、人材の価値を最大限高めるとともに、先進的な取組みを通じて新たな付加価値の創出を目指してまいります。

記

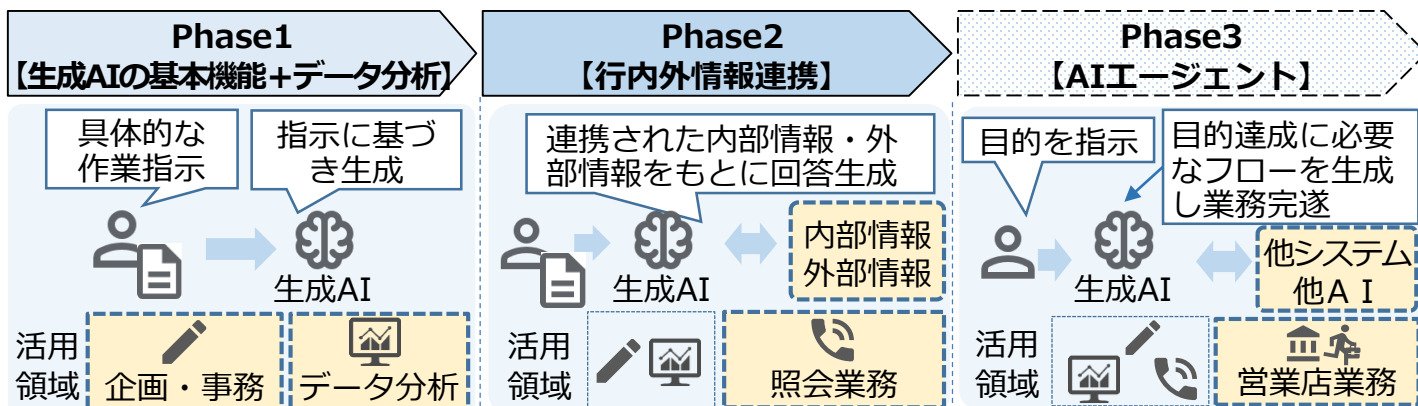
1. 想定する活用業務

文書作成や情報収集業務への活用のほか、データ集計・分析業務にも積極的に活用し、段階的に生成AIの活用領域を拡げていきます。一般情報に加え行内情報も利用することで、本部の55業務以上で業務効率化（約32千時間／年）を見込みます。

2. 生成AI活用のロードマップ

行内情報や他の行内システムと生成AIを連携させることで、生成AIの活用領域を拡大し、銀行業務の抜本的な生産性向上に向け取組みを進めていきます。

<活用領域拡大のイメージ>



3. 環境構築等のパートナー企業

当行では、今次生成AI導入にあたりMicrosoft Azure*の基盤を新たに構築することから、クラウド環境の構築・保守運用および生成AI分野の支援で実績を持つ「東日本電信電話株式会社」をパートナー企業といたしました。

パートナー企業と連携し、高いセキュリティ水準を満たした安全かつ拡張性のある最適な生成AI活用環境を構築します。

*Microsoft、Azureは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

